

# つばた

議会だより

No.146  
2018. 7. 5



## 6月会議

|                                    |   |
|------------------------------------|---|
| 旧河合谷小跡地で宿泊体験交流施設建設に向け始動 …          | 2 |
| クローズアップ 人工内耳用音声信号処理装置の購入に助成 ……     | 4 |
| 委員会審議 学校施設長寿命化計画の策定を委託 ……          | 5 |
| いっぱん質問 子どもの国保税均等割額を軽減せよなど 8人が登壇 …… | 8 |

伝統を受け継いで  
(笠野小学校)

表紙写真撮影：議会広報調査特別委員 森川 章

# 6月会議

6月会議を4日から12日までの会議期間で開催した。初日に一般会計・事業会計補正予算、条例の改正などを含む議案8件、承認10件が提出され、引き続き町政全般について8人が一般質問を行った。

議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決、請願1件を採択し、意見書1件を可決した。続いて公平委員会委員、固定資産評価審査委員会委員の選任について同意した。

## 豊かな自然を体験できる宿泊施設に

# 旧河合谷小跡地で 建設に向け始動

## 委員報酬16万円計上

**平** 成20年に閉校となった旧河合谷小学校の跡地に宿泊体験交流施設を建設するため、整備委員会を設置した。

施設の基本目標としては、豊かな自然や地域の伝統文化に触れることができる滞在型施設として考えており、町内外から合宿や山村体験研修などを目的とした団体やグループ客を呼び込み、地域で活動する機会を創出することで、町と地域の活性化を図る。辺地対策事業債を活用し、31年度に実施設計を行い、校舎の取り壊しに着手、32年度に建設工事を予定している。

## 一般会計補正予算

1億5827万円を可決  
(賛成14人・反対1人)

一般会計総額127億5827万円に

子の世代、孫の世代のためのまちづくり  
今を心豊かに暮らすためのまちづくり

住民福祉のさらなる向上を目指し、着実に進めてきた各種の政策を形として実現させていきたい。

- 町民の安全、安心と福祉の向上**
- ・ 就学援助費の前倒し支給を小学校入学時にも適用
  - ・ 子ども医療費の助成対象を15歳から18歳までに拡大
  - ・ 旧河合谷小学校跡地に宿泊体験交流施設の建設

- 100年後も元気な町であるための礎となるまちづくり**
- ・ 体験型観光交流公園の整備と植樹予定のアンズを使った特産品の開発
  - ・ 役場北側庁舎の建て替え
  - ・ 屋内温水プールの整備
  - ・ 大坪地区に工場用地を造成
  - ・ I R 津幡駅東口の整備と新駅の設置

町長3期目の  
所信表明

6月補正予算で新たに行われる事業など、  
一部を紹介します。  
補正予算とは、当初予算の内容を一部変更する予算です。

こんなことに使われます  
**クローズアップ**

人工内耳装用の方に

購入費を助成

20万円

人工内耳を装着している方に対し、人工内耳用音声信号処理装置の購入に必要な費用の一部を助成する。



町民向けの落語教室を開催

35万円



株式会社よしもとクリエティブ・エージェンシーとの包括連携協定に基づき、町民向けの落語教室を開催するための委託料。  
公民館など6か所での開催を予定しており、詳細は広報つばたなどで周知する。

町道竹橋大坪線

道路改良費

5217万円

地方創生道整備推進交付金の決定により、引き続き体験型観光交流公園へのアクセス道路を整備し、平成31年度の完成を目指す。

いしかわ道徳

教育推進事業

25万円

太白台小学校が県教育委員会からいしかわ道徳教育推進事業の委託を受け、各種協議会の開催や地域と連携した道徳教育に取り組む。



人事

選任された委員

公平委員会委員

(平成30年6月26日)

任期4年

鈴木 準一氏

(北中条)

再任



固定資産評価

審査委員会委員

(平成30年6月28日)

任期3年

板坂 壽信氏

(能瀬)

新任



(以上、全員賛成)



体験型観光交流公園の計画は、交流人口の算定など当初から問題があった。町民の声を聞き、計画を見直すべきだ。

塩谷 道子議員

# 委員会 審議

町議会では2部門の常任委員会に分かれ審議しています。

**総務産業建設**（総務・財政・税務・議会・監査・消防・土木・農林・労働・商工・上下水道など）

◎八十嶋孝司 ○酒井義光 竹内竜也 西村 稔 多賀吉一 向 正則  
谷口正一 河上孝夫

**文教福祉**（民生・衛生・保険年金・福祉・教育・病院）

◎荒井 克 ○道下政博 森川 章 井上新太郎 森山時夫 角井外喜雄  
塩谷道子 洲崎正昭

（◎委員長 ○副委員長）

各常任委員会で活発に議論されたものを紹介します。

## 総務産業建設

### 大雪による被害救済 農業ハウスの再建に補助

-農林振興課-

**Q** ハウスの倒壊数と補助申請数は。

**A** 倒壊数は町内全域で49棟あり、河北潟干拓地内に多い。現在2件の申請がある。

**Q** 申請が少ないが、なぜか。

**A** ハウスを複数所有の場合、1棟の倒壊でもすべてに新たな保険の加入などの条件があるためだと考えられる。



▲大雪で倒壊した農業ハウス

## 文教福祉

### 学校施設の長寿命化 計画策定を委託

-学校教育課-

**Q** 長寿命化計画の内容は。

**A** 学校施設は教育現場であるとともに、災害時にはほとんどが避難施設になり、その役割は重要である。文部科学省の方針で、平成32年までに長寿命化計画を策定する。

**Q** 計画では2年となっているが、その内訳は。

**A** 学校施設の実態調査に約1年かかり、それをもとに今後の計画を立てることが2年目の作業となる。



▲築後30年を超える萩野台小学校

みなさまからの

# 請願1件を審査

6月会議で審査された請願・陳情の結果をお知らせします。  
 請願・陳情は、町政に対し意見や要望があるとき誰でも提出することができます。  
 請願には紹介議員が必要ですが、陳情には必要ありません。

## 採択

ヘルプマークのさらなる普及  
 推進を求める

◎請願者 公明党津幡支部津幡地区員

紹介議員

池田 邦三  
 道下 政博  
 (全員賛成)

主旨

義足や難病など、外見から分かりにくいハンディを持つ方が援助や配慮の必要性を周囲に知らせるヘルプマークを、導入・検討している自治体が増えている。しかし、認知度の低さによる課題も明らかになっている。必要な方が携帯すべきことはもちろん、マークの持つ意味の理解を広めることが重要であるため、心のバリアフリー推進事業などへの取り組みを強く求める。



▲全国で使われる  
 東京都考案のヘルプマーク

□□□-□□□□

採択された1件の請願は  
 意見書を内閣総理大臣ほか  
 関係機関に送付しました

## 6月会議の審議結果

(賛否の分かれたもののみを掲載しています)

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退席…退 除斥…除

| 議案                                    | 件名と主な内容<br>(件名は一部省略しています) | 議席番号 | 議決結果 |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |
|---------------------------------------|---------------------------|------|------|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|
|                                       |                           |      | 1    | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 一般会計補正予算(第1号)…町道整備事業費など1億5827万円を増額する。 | 可決<br>賛14・反1              | 森川章  | ○    | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | ×  | -  | ○  | ○  | ○  | ○  |

※議長は採決に加わらないため「-」で表示

### 議員の寄附行為は公職選挙法で禁止されています

- 香典や結婚披露宴における祝儀（本人出席の上、通常一般の社交の範囲であるときを除く）
- 議員や後援会がお中元やお歳暮を贈ること
- 町民や団体が議員に寄附などを求めること

このほか、議員活動に対して法律上の制限があります。  
 各種会合への出席依頼には参加費を必ず明記してください。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします

# 先進地に学ぶ

## 委員会視察レポート

委員会で行った行政視察や研修で学んだことを報告します。

### 議会改革検討 特別委員会



▲改革の方向性を探る

タブレットの導入と

議会報告会を学ぶ

(富山県南砺市)

4/11

#### 【視察の目的】

当町でも導入を検討中のタブレット端末の活用方法と平成25年から試行中の議会報告会の取り組みを学び、よりよい方法を模索する。

#### 【研修内容】

##### ・タブレット端末

会議システム、連絡・スケジュール管理の共有化、ペーパーレス化などに活用されている。現時点で大幅な経費削減効果は見られないが、効果的な議会運営や情報伝達が実現されている。

審議の充実や説明責任を果たすべくツールとしての可能性を、さらに模索する必要がある。

##### ・議会報告会

議会基本条例に開催規定を設け、広報広聴特別委員会の申し合わせにより、年4回8会場を実施している。

住民との意見交換の重視、開催日時やテーマの設定が重要であると感じた。

### 上下水道事業の 包括的民間委託を学ぶ

(石川県かほく市)

5/23



▲民間委託のメリット、デメリットは

### 総務産業建設

#### 常任委員会

#### 【視察の目的】

上下水道施設の包括的民間委託の取り組みを視察、研修し、当町における課題を明確にする。

#### 【研修内容】

平成25年度以降、水道事業の一部は除かれるが、公共下水道事業、農業集落排水をあわせた3施設の管理業務を委託する包括的民間委託に移行した。それ以前の管理費用合計

額は年間1億8000万円に達していたが、1500万円程度、率にして8%の削減効果をもたらしている。現在では、直営方式よりも安定した塩素濃度管理が実現されている。

課題は、民間委託による職員の技術力低下やノウハウの継承である。当町で導入の際は、これらを検討していく必要がある。

### 研修報告

5/28

研修会

町村議会議長・副議長  
研修会

「町村議会議員の議員報酬のあり方」  
中間報告  
講師 江藤俊昭氏  
など

# 問う

一般質問とは、議員が町政全般について町長など執行機関に考えや方針を問うものです。制限時間は1人30分以内で、一問一答で行われます。



塩谷道子 議員

## 国 保 税

子どもの均等割額を

軽減せよ

公平性・平等性の

観点から難しい

塩谷 議員

全国知事会は国に、国保税の定率国庫負担の引き上げ、子どもの医療費無料化制度の創設、子どもの均等割の軽減などを求めている。

独自に子どもの均等割を軽減している自治体があるが、子育て世代への支援策としても歓迎されている。当町でも検討せよ。



▶保険税が安くならないかな

矢田 町長

国民健康保険税の均等割と平等割に対する軽減措置は、世帯の所得状況に応じて行っている。新たに町独自で18歳未満の子どものみを対象とする均等割の軽減を行うことは、ほかの加入者の負担増になり、公平性・平等性の観点からも難しいと考える。

## いきいきサロン 送迎に支援を

地区ごとに対応している

高 齢 者



▲広げよう、介護予防の輪を

塩谷 議員

当町には63か所のいきいきサロンがあり、高齢者に喜ばれている。しかし、運転ができない、一人での外出が難しいとなると、参加することができない。どのサロンでも送迎が大きな課題となっている。

- 高齢者への外出支援として、タクシー代や保険の掛け金を補助すべきではないか。
- Q** 会計年度任用職員制度で、臨時・非常勤職員が不利益を被ることがないよう求める。
  - A** 適正に制度の導入を行う。
  - Q** 小学校入学前に就学援助制度を適用せよ。
  - A** 平成30年度末（31年度入学分）から適用する。

### その他の質問

小倉 町民福祉部長  
当町では、町社会福祉協議会と連携し、平成27年度に地区くらし安心ネットワーク委員会を全地区に設立し、地域での介護予防活動を展開している。

また、地域課題に対応するため予算化し、実情に応じた事業に活用されている。外出支援の方策として、タクシー代や借り上げ車両の保険料に活用している地区もある。



荒井 克 議員

# 一般質問

# 町政を

## 第100回大会に向けて 機運を高めよ

準備を進めていく

### 河北潟駅伝

荒井 議員

平成32年11月に行われる河北潟一周駅伝大会が第100回目を迎える。国内で最も歴史のある駅伝大会であり、この記念大会を全国に発信すべきである。

主会場となる当町としても、企画・運営を提案し、機運を高めよ。

矢田 町長



◀歴史を刻む号砲

第100回大会の計画は、河北郡市陸上競技協会が現在検討中であり、平成30年8月には関係機関と協議したいとのことである。第100回大会に向けての誘導看板はすでに更新し、記念誌の発刊も考えている。

素晴らしい記念大会となるよう、しっかりと準備を進めていく。

## 新庁舎

駅伝にあわせて

落成式の実施を

安全面からも不可能と考える

荒井 議員

役場新庁舎は平成32年末の完成を目指しているが、同年11月に行われる第100回河北潟一周駅伝大会のスタート・ゴールとあわせて、庁舎の落成式を行えないか。また、町民に新庁舎を開放して大内覧会を実施できないか。

矢田 町長

新庁舎は、北側庁舎の解体、外構整備など、全体工事の完成は平成33年3月末を予定しており、河北潟一周駅伝大会にあわせての落成式の開催は、安全面からも不可能と考えている。

そのため、駅伝大会の閉会式は文化会館シグナスでの実施、またスタート・ゴール地点の変更も検討が必要と考えている。



▲生まれ変わる日待つ役場庁舎



八十嶋孝司 議員

## 少子化対策

### 子ども医療費の

### 拡充を

平成31年度から

18歳までに拡大する

八十嶋 議員

当町の出生数は、ここ数年平均300人を維持してきたが、平成29年度は265人と落ち込んだ。少子化対策の一環として、子ども医療費の助成範囲を広めるなど、子育て世代へのさらなる環境づくりが必要である。町の考えは。

矢田 町長

県内市町の多くが子ども医療費の助成対象年齢を18歳までに拡大していることから、当町でも平成31年度から現行の15歳を18歳までに拡大したいと考えている。自己負担の撤廃は、引き続き検討していく。今後、少子化対策に効果のあった自治体の取り組みを調査、研究していきたい。



▶笑顔を未来につなごう

## 通 学 路

### 防犯対策を検証し 課題を生かせ

より効果的な  
対策を検討する

八十嶋 議員

新潟市で起きた女児の通学路での悲惨な事件は記憶に新しい。

当町でもこの事件を教訓に、通学路のさまざまな問題点を検証し、より安全、安心な防犯対策の構築が必要である。通学路の範囲は広いが、町は見守りに責任を持つぐらいの覚悟が必要ではないか。以前提案した防犯カメラの設置も含め、考えを示せ。

吉田 教育長

子どもたちの安全確保の新たな取り組みとして、不審者などの情報を町全体で共有し、より多くの大人の目で見守るため、町の防災メールを活用した情報発信ができないか検討したい。防犯カメラの設置は、より効果的な防犯対策のツールとして機能するよう、警察など専門家の意見を参考に検討する。



▲子どもの命を守る第一歩



森川 章 議員

### 町立保育園

## 防犯設備の充実を図れ

### 設置導入を考えている

子どもに対する事件や公共施設での事件など、生活の中で不安になることが起きている。保育園に不審者が侵入してきたときの緊急通報システムや自動施錠システムなど、さらなる防犯設備の充実を図れ。

森川 議員



◀セキュリティ強化が望まれる

小倉 町民福祉部長

町立保育園では、年1回津幡警察署の協力を得て、防犯訓練を実施している。刺股さしまたを使用した防犯方法の講習も行うなど、緊急時に備えている。さらなる安全対策のため、財源確保も含め効果的な防犯設備の設置導入を行いたい。

### 小学校

## プログラミング教育への

### 計画を示せ

### 実施に向けて準備を進めている

森川 議員

平成32年度から小学校で、論理的な思考を育むプログラミング教育が必修化される。今後、プログラミング教育をどう推進していく

森川 議員

計画なのか。また、教育現場のICT化の充実と企業や他の教育機関との連携協力に向けた取り組み計画を示せ。

吉田 教育長

プログラミング教育の実施に向け、教育課程編成や学習指導法などのソフト面とICT環境整備のハード面から、各学校を支援する体制を整え、予算確保も含め準備を進めている。10月にはIT産業との産学連携による研究授業も予定している。



▲まちなか科学館でのプログラミング体験

### その他の質問

- Q** ふるさと納税を活用し、レスリング振興を図れ。
- A** まずは人材の充実が必要である。



井上新太郎 議員

## 市制施行

### 今後の展望を示せ

積極的な移住・  
定住促進を図る

井上 議員

人口問題研究所によると、2045年の地方都市人口は20%から50%も減少すると推計される中で、当町では13・2%の減少率となっており、今後に期待が持てる。3期目の町政を託された矢田町長の、積極的な施策展開による町の人口増と今後の市制施行への展望を示せ。



▶目指せ！津幡市

矢田 町長

市制施行の条件となる人口5万人の実現には、積極的な移住・定住促進を図ることが必要となる。津幡駅東口と新駅設置や新たな工業団地の造成などが、その実現の核になると考えている。まずは4万人を目指し、これらの取り組みを進めていく。

## 事故救済制度への 所見は

制度の導入は  
考えていない

認  
知  
症



▲高齢社会での課題

井上 議員

近年、認知症高齢者が起こした鉄道事故で、高額な損害賠償を請求される訴訟が発生した。このようなケースに、公費で救済する自治体が出現している。今後想定される事故などへの救済制度について、町の所見を問う。

小倉 町民福祉部長

自らの身は自らが守るという自助努力が基本であることから、現時点では公費による事故救済制度の導入は考えていない。認知症の相談支援や事故予防啓発、事業所との見守り協定、自動車免許の自主返納など、施策を積極的に展開している。



西村 稔 議員

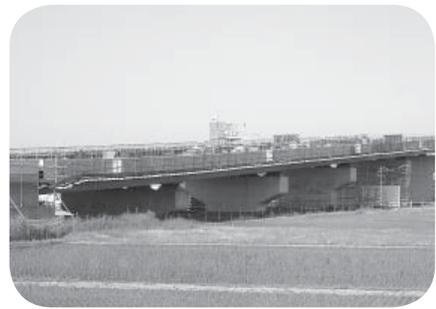
## 道路網整備計画が重要ではないか

さまざまな事業・施策の実施こそが重要である

### 税 収 増

西村 議員

金沢港から河北潟を縦断し、津幡町に通じるアークセス道路が必要と考える。  
安定した財政運営と税収を得るためには、計画的な道路網整備と対策が重要だと思うが、考えを問う。



◀整備される道路 (金沢市)

矢田 町長

安定した財政運営と税収確保のためには、子育てや教育環境の充実を図るなど、安全で安心して住み続けられるまちづくりにより定住・移住人口を増やし、また企業誘致や観光客誘致などで産業振興を図ることが必要である。  
道路整備のみに固執することなく、さまざまな事業・施策の実施こそが重要である。

## 危険空き家

解体費用補助制度を

実施せよ

有効性を見極め検討する

西村 議員

危険空き家対策は、特別措置法が施行され、当町でも条例制定、審査会設置などに取り組んでいますが、十分な解決に至っていない。  
法による強制的な手続きではなく、当町独自の解体費用補助制度を実施せよ。

矢田 町長

平成30年2月に町危険空き家等対策計画を策定し、4月1日からは町空き家等の適正管理に関する条例を施行している。  
今後、町空き家等対策審査会を設置し、危険空き家の対策を推進していく。町独自の解体費用補助金制度の創設などは、有効性を見極め検討する。



▲空き家解体に補助制度を

### その他の質問

Q 北中条西部の土地利用計画は、  
A 具体的な計画はない。



道下政博 議員

## 政策形成

若者の参画を

推進せよ

活躍できる場を考える

道下 議員

20代と60代との選挙投票率の比較では、約2倍の開きがある。日本の若者が政治的無関心となる一因は、若者の声が政治に反映されにくく、社会における影響力を実感し

にくいためと考えられる。若者の投票率向上への取り組みや、審議会における若者登用の推進、若者会議の開催などを検討すべきである。

矢田 町長

選挙管理委員会では、未来の有権者への啓発事業として、小学6年生を対象に選挙に関する講話と模擬投票を行っている。審議会の夜間開催などの工夫は、今後さらに検討を続けていく。若者会議など他市町の取り組みも参考に、若者が活躍できる場を考えていく。



▶ 参政を誓う新成人

## 男女共同参画プランに理解促進策を

更新に向け検討する

L G B T



道下 議員

LGBTは、同性愛者や性同一性障害者などの総称であり、日本の人口の約8%が該当するとされている。男女共同参画プランの改定時に、性的多様性の観点を盛り込め。また、職員研修で性的多様性への理解を深めるよう提案する。

石庫 総務部長

石川中央広域圏男女共同参画推進協議会に加わり、さまざまな情報交換や啓発イベントの実施などを行っている。

現在のプランが更新される平成35年に向け、性的多様性に関する意識啓発活動や相談体制の整備など、より具体的な観点を盛り込むことを検討する。

職員の研修会で、全職員が認識を深める機会をつくっていく。

### その他の質問

**Q** 産後ケアのさらなる充実を。

**A** ささまざまなニーズに対応できるように充実を図る。

**Q** 崖崩れの事前災害対策は。

**A** 危険箇所を調査し、安全対策を図る。



竹内 竜也 議員

## フレイル対策の取り組みを示せ

### 早期発見と予防対策を行っている

#### 健康長寿

##### 竹内 議員

健康を維持し、活力に溢れる質の高い生活を送り、長生きされる高齢者が増えることは喜ばしい。健康寿命を伸ばすためには、加齢による心身の活力低下を早期に発見し、適切な介入が必要となる。介護予防事業におけるフレイル対策の位置づけと取り組み状況を示せ。

##### 小倉 町民福祉部長

当町では、フレイルとなる高齢者を早期に発見し、必要な支援を行うために生活機能低下の評価をしている。対象となった方には、運動、歯科口腔などの機能向上を目指したメニューを取り入れた、通所型短期集中予防サービスへの参加を促している。

また、フレイル前の予防対策として、生活習慣病予防に関する取り組みのほか、健診などの受診勧奨を行っている。

##### ※フレイル

加齢とともに運動機能や認知機能などが低下している状態のこと。一方で、適切な支援により生活機能の維持向上が可能な状態でもある。

## 子育て

### 父親支援への考えは

#### 少子化などの問題に対し有効な施策である

##### 竹内 議員

世論調査では、4割ほどの妻が夫の育児に満足していないとされるが、父親の育児は、子ども・母親・父親・企業・社会を幸せにすると言われる。主体的に育児に関わり

妻のよきパートナーであることは時代の要請と言え、夫の育児時間と第2子以降の出生割合には正の相関があり、少子化対策として可能性も秘める。父親支援への考えは。

##### 矢田 町長

父親の育児参加を切り口としてワーク・ライフ・バランスが実現されると、女性の就業率向上や少子化の歯止めなど、社会問題の解決につながるものと期待され、有効な施策の一つであると考えられる。

しかし、行政が父親への支援制度を整備したとしても、企業が父親の育児参加を支援しなければ、仕事と育児の両立ができない。職場における育児支援への理解を求めるための働きかけが重要である。



▲育児を楽しむパパ

追跡

## あの質問のゆくえ



▲大きく育ったね

## 多胎児への支援に取り組み

平成29年6月会議 荒井 克議員

平成29年2月に、町内で四つ子の赤ちゃんが誕生し、明るいニュースに町民が元気をもらった。

四つ子の誕生は全国的にも例が少なく、データもほとんどない中で、妊娠から出産に至ったと聞く。

今後、町の子育て支援の一環として、多胎児に対し、独自の取り組みを示せ。

答 弁

## ニーズを把握し検討する

町は、多胎児の妊娠から出産後まで定期的に家庭訪問をするなど、総合的な相談支援を行いながら、母子の健康状態を注意深く見守っている。

今後は、産後ヘルパー事業による母親の家事援助、子どもの一時預かりなどを行う子育てサポートセンターの利用支援、ベビーカーなどの購入費助成ができないか、ニーズを把握した上で検討する。

その後

多胎児家庭に子育てサポートセンター  
無料利用券を交付

平成30年4月から、3歳までの多胎児を養育している家庭の育児を応援するため、子育てサポートセンターの無料利用券を交付している。会員登録することで、保護者などが病気や急用、リフレッシュしたいときなどに子どもの送迎や一時的な託児を依頼することができ、地域社会全体で子育てをサポートする。

これまでに行われた質問や提言がどう取り組まれたか、2項目を選びレポートする。

空き家解消に向けた条例の制定を  
平成26年3月会議 酒井 義光議員

放置されている危険な空き家の解消が進んでいない。平成25年11月に開催された議会報告会の中で、区長からも同様の問題が提起された。

空き家管理条例の制定、解体することで数倍となる固定資産税の減免、解体費用の一部助成制度などの実施を求める。

町として具体的な空き家対策に取り組み。

答 弁

## 環境美化条例に基づいた対策を強化する

空き家管理条例の制定、解体費用の補助については私有財産の観点から多くの課題があり、現時点では難しい。空き家取り壊し後の固定資産税の減免は、税の公平性の観点から困難である。

当面は、町環境美化条例に基づいた空き家対策を強化していきたい。

今後も町独自の取り組みができないか、調査、研究していく。

その後

## 空家等の適正管理に関する条例を制定

平成28年に町内の危険空き家の実態調査を行った結果、危険性が高く指導が必要な空き家が29戸あることが分かった。

そこで、危険空き家等の利活用も含めた総合的対応を促進することを目的に町危険空家等対策計画を作成し、30年4月からは空家等の適切な管理を図るため、町、所有者、町民の責務や必要な行政指導などを定めた町空家等の適正管理に関する条例を施行した。

解体費用に関する補助制度は、先進自治体を参考に制定を目指していきたい。



App StoreまたはGoogle Playからダウンロードしてください。

# 自治功労表彰

4月24日に石川県町村議会議長会が開催され、自治功労表彰などを受けた。

県町村議会議長会表彰  
(11年以上)



角井外喜雄 議員



酒井 義光 議員



塩谷 道子 議員



森山 時夫 副議長

全国町村議会議長会表彰  
(特別表彰)



多賀 吉一 議長

石川県知事表彰  
(5期以上)



谷口 正一 議員

町村議会広報コンクール  
奨励賞(企画・構成部門)



つばた議会だより  
No.140

## 議会を傍聴しましょう

9月会議は、9月4日(火)からの予定です。

- 傍聴受付日時 9月4日(火) 午前8時30分～
- 定員 35人
- 受付場所 町役場3階 議場入口前



- ◎初日は、議案の提案理由の説明と町政一般質問が行われる予定です。
- ◎各常任委員会審議も傍聴することができます。
- ◎日程は変更になる可能性がありますので、詳しくは町議会ホームページをごらんになるか、下記までお問い合わせください。

本会議は、ケーブルテレビ(生中継・録画)やインターネット(録画)でもごらんいただけます。

お問い合わせは、議会事務局 (TEL288-6410)

今回試行として町民の方に議会だよりについてのアンケートをお願いしましたところ、快く応じていただきありがとうございます。ご指摘いただいたことを真摯に受け止め、編集に生かしてまいりますので、よろしくお願いたします。

議会の会議録は  
町議会ホームページで  
見ることができます。



津幡町議会HP

# みんなで楽しくやってみよう!!

## サークル紹介第35回

## 津幡町弓道協会

弓道を通して生活に楽しいリズムを!!



弓道は日本古来からの長い伝統を持つ武道です。激しい動きを必要とせず、体力に合った強さの弓を使用し、老若男女が季節を問わず一緒に楽しめる生涯スポーツです。

現在会員が21人です。70歳を過ぎてから弓道を始め、高段を目指す方々もいます。試合は、町主催の大会から全国大会まで、また60歳以上のシルバード

会長 瀬村 義弘  
せむら よしひろ

会もあり、レベルに応じて楽しんでいきます。

また、技能を高めるために講習会、審査会に参加してより高い段位に挑戦しています。

ただ中てるのではなく、正射正中を求めることで自分と的(自分の心)との闘いが始まります。

「礼に始まり礼に終わる」弓道。極めても極めても終わりはありません。しかし、なぜかほとんどの方が弓道をやめずに楽しませてもらっています。

### ◆活動場所と時間

町総合体育館  
毎週月曜日以外毎日  
19時30分～21時

### ◆連絡先

☎288-1079  
(瀬村)



### 表紙の題字は

津幡小学校6年

北村 侑己さんの作品です。

津幡小学校は、今あいさつをがんばっています。毎朝、6年生が中心となって、玄関に立つてあいさつをしています。そのおかげで、毎日朝から元気なれます。ぼくは、そんな元気な津幡小が大好きです。



### 議会広報調査特別委員会

- 編集委員長 荒井 克
- 副委員長 八十嶋孝司
- 委員 森川 章
- 竹内 竜也
- 井上新太郎
- 塩谷 道子

議会だよりの感想をお寄せください!